

心の窓



校訓：かしこく やさしく あかるく つよく

令和3年10月29日（金）

南関町立南関第四小学校 学校だより

No.26

文責：松永 尚子

土曜授業（人権の日）

23日（土）は、土曜授業（人権の日）でした。今回は、ゲストティーチャーとして前田強さま（馬料理二代目天國 店主）をお招きして、「新型コロナ感染体験を聴く」というテーマで、お話を聞きました。前田さまは、コロナ禍の初期に感染され、重症になられて、長い時間病氣と闘い生還されました。悩まれたうえで店名の公表をされました。感染によって学ばれたこと、考えられたこと、伝えたいことを率直にお話いただきました。前田さまのメッセージ

「食べ物のお店をしているから、日頃から手洗いやうがい、アルコール消毒など、感染を防ぐように心がけていましたが、感染しました。入院したときには、重症化していて、とにかく息ができなくて苦しく、2週間ほど集中治療室に入っていました。一週間ほどは記憶がありません。13kgも体重が落ちてしまいましたが、どうにか治ってきました。リハビリの初日は、寝たきりでした。5日目にやっと歩けるようになりましたが、まだ後遺症に悩まされています。45日間の入院が終わって退院するときに、看護師さんたちに見送ってもらいました。とにかく、お医者さん看護師さんの献身的な看護がありがたかったです。そして、うれしかったことは、息子の学校から『学校をあげて、全力で、息子さんを守ります。』と言ってもらったことです。みなさんに伝えたいことは、『もし、自分や家族や友達がかかったら、どうするか』を常に考えて、他人を思いやる気持ちをもって、温かい言葉や励ましの言葉をかけることができる人であってほしいです。悪いのは感染した人ではなく、ウイルスです。一人はみんなのために、みんなは一人のために、思いやりのある行動をお願いします。学校にお願いしたいことは、日頃から差別や偏見をなくし、人を思いやる気持ちや行動を大切にしてほしいということです。」

たくさん子どもたちが感想や質問をしました。打越ひなたさんは、「人にうつさないようにする思いやりの行動は自分のためだけでなく、みんなのためだと思います。そして、感謝の気持ちをちゃんと伝えようと思いました。」と発表してくれました。宮寄しゅんくんは、「なぜ、話そうと思ったのですか」と質問しました。すると、前田さまは、「人の温かさを受けたことを伝えたい。今あるこの幸せをかみしめたい。幸せだと伝えたい。」と話されました。



四小集会（3年生、4年生）

27日（水）に、四小集会をリモートで行いました。担当学年は、3・4年生でした。3年生は、国語で学習した「すがたを変える〇〇」というテーマで、グループに分かれて調べた米や魚、トウモロコシなどの食材が、どのように姿を変えるのかを発表してくれました。また、4年生は、総合的な学習の時間に学習した内田川の水生生物について、クイズ形式で発表してくれました。学んだことを表現することで、ほんものの知識として自分のものになるだろうと思います。



集団宿泊教室です。

28日（木）の朝、5年生9名は、一小から三小のみんなと一緒に県立芦北青少年の家へ集団宿泊教室に出かけました。今年度は、三小が事務局ですので太田校長先生をはじめ各学校の担任の先生11名の引率で、元気よく出発しました。充実した二日間を過ごし、ちょっとたくましくなっていてきてくれると思います。



クラスみんなで決めるには・・・

4年生は、国語で「役割を意識しながら話し合おう」という単元を学習しました。そこで、「学級レクリエーションをしよう」という議題で話し合いを行いました。司会グループを決め、役割を意識しながら話し合いをして、10月27日（水）の3時間目に実行することができました。

クラスのみんなでいろいろな工夫をして作った折り紙を校庭のあちこちに隠し、「宝探し」ゲームもあっていました。ハロウィン前で、様々に飾りもしていました。秋の温かな日差しの中で楽しそうに過ごしていました。

